



JAPAN HANGGLIDING FEDERATION

# JHFレポート

5・6月号  
2002年

(社)日本ハンググライディング連盟 発行

<http://jhf.skysports.or.jp/>

2001年夏、スペイン南部のアルゴドナレスで開催、ハンググライディング世界選手権より。外村仁克選手テイクオフ。



栃木県赤岩山エリアでパラグライダータンデムフライト。

## いつまでも飛びたい

山々の雪が消え、芳しい風に頬がゆるむ。  
全国的にフライヤーの季節だ。  
ゴールデンウィークは、夏休みは.....  
いろいろな計画が頭のなかを駆け巡る。  
気分はもうトップアウト！  
でも、忘れてはいけない。  
いつも笑顔でランディングできるよう  
いつまでも楽しく飛び続けられるよう  
なによりも安全なフライトを。

### JHFレポート 5・6月号

### Contents

- P 2 2002年度のJHF
- P 4 **安全講座** 焦らず驕らず欲張らず
- P 6 県連だより 京都府フライヤー連盟
- P 7 県連ニュース
- P 8 委員会の動き

- P 9 PGルールブックの改訂 PG補助動力技能証規程の改定
- P10 DHV視察調査報告 -ドイツに学ぶ。
- P11 CIVL総会報告 理事活動報告
- P12 理事会ダイジェスト
- P13 **@sky** 空の楽しさ満載の情報ページ



# 2002年度のJHF

## 事故を撲滅、普及活動を推進し、ビジョンを築く。

3月20日のJHF通常総会で、2002年度のJHF事業計画案と収支予算案がそれぞれ承認され、新年度のJHFの進むべき方向が決まりました。

この事業方針・計画の背景には、次のような現状に対する反省があります。愛好者数が横ばいで、特に若年層が減少傾向にある。このため全体的に活力が湧かない状態にある。事故が多くなってきている。昨年度はパラグライダーハーネスのレッグベルト締め忘れ等の事故が多かった。大会等の事業における安全管理体制について、現状のままでよいか再確認する時期となっている。JHFに期待されていることは多いが、その対応速度の向上が望まれている。

これらの問題の早急な解決が必要だという認識のもとに、定款に定められているJHFの基本方針「日本のハンググライディング界を統括し、代表するスポーツ団体として、安全で楽しいハンググライディングの普及および振興を図る、もって全ての人の心身の健全な発達に寄与する」を貫くため、新年度のJHFが動き始めました。

方針・計画を現実のものにするには何よりも「人の力」が必要です。限られた予算で、大きな収穫を得るためにつ

まりフライヤーのメリットをふやすために、フライヤーの皆さんのご協力をお願いします。

### 2002年度事業方針

#### [ 1 ] 事故の撲滅

##### 1 情報の早期収集と伝達により類似事故を防ぐ。

事故情報をいち早く収集する。その情報を早くフライヤーに伝達し、類似事故を防ぐ。そのために、事故情報収集態勢を整え、それを効果的に発信していく。

##### 2 安全教育並びに啓蒙活動の充実

##### 3 安全対策について、幅広く検討を加える。

#### [ 2 ] 将来像の検討

##### 1 JHFの将来像を検討し、改革計画を立案する。

教員の育成方法について検討する。技能証の認定業務について検討する。学科、実技検定について検討する。その他

##### 2 海外の組織の研究

DHVへの調査派遣  
フランス、イギリス、スイス、アメリカ等のシステム調査

##### 3 正会員のための連盟である。正会員参画のもとに事業を進めていく。

理事会の情報を早く、的確に伝えると同時に意見を求める。

連絡は電子メールを活用し、スピードアップと通信費の削減を図る。

##### 4 理事会の開催を半減できるようにする。

##### 5 公益法人に相応しい責任あるJHFとなる。

フライヤーが安心して参加でき、同時に実行委員も安心して事業に専念できるようにする。すべてのことについて、法的な面での検討を加える。

##### 6 フライヤーサービスの向上

外部よりの専門事項に対する問い合わせに対し、いち早く対応できるような体制を作る。

会員のニーズに素早く応える。

会員以外の問い合わせやクレームに即応する。

#### [ 3 ] 普及活動の推進

##### 1 スクール登録制度の活用

登録スクールへのサービス提供。事故情報の早期伝達。最新登録機体の情報を流す。

普及活動の展開として活用する。

##### 2 正会員への援助に力を入れる。

JHFができるだけのバックアップ態勢をとる。

正会員との連絡態勢を強化する。意

見交換を図る。

### 3 業界との情報交換を密にする。

スクールの充実によりフライヤー人口の拡大を図る。

エリアの開発を促進援助し安全で楽しいフライトを拡大する。

### 4 宣伝普及活動の強化

JHFレポートの充実

一般社会に対してスカイスポーツの楽しさと安全性をアピールする。

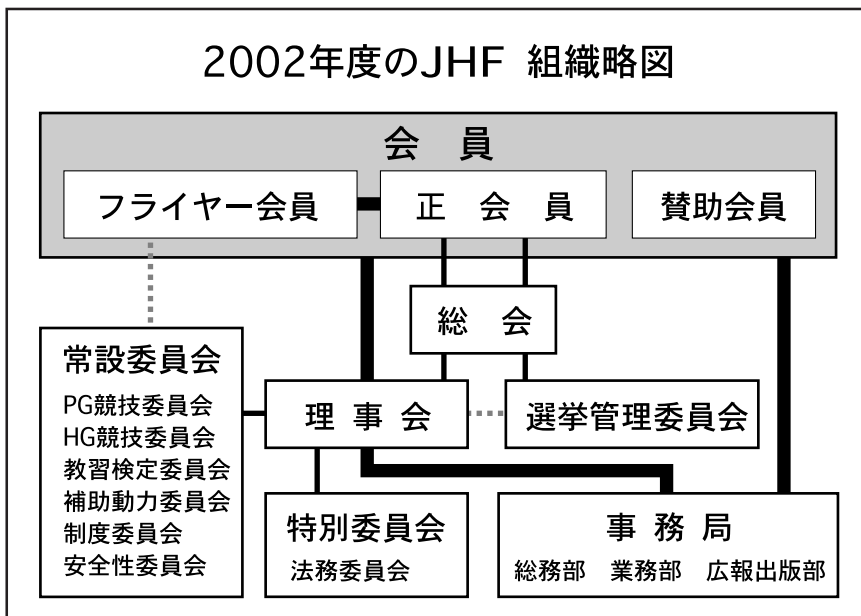
世界選手権で上位の成績を収められるようにする。

トップ選手の育成に努める。

高齢者でも安心して楽しめる生涯スポーツを目指す。

体協への加盟を目指す。

国体種目を目指す。



## 2002年度事業計画

- 1 技能証発行
- 2 .フライヤー会員登録の実施
- 3 都道府県連盟事業補助
- 4 学生連盟の育成
- 5 PG、HG競技会の公認
- 6 PG、HG日本選手権主催
- 7 PG、HG国際大会への選手選考
- 8 補助動力選手権の主催
- 9 教員研修会、検定会の開催
- 10 制度の見直し
- 11 スクール情報登録の実施
- 12 厚生活動事業の援助
- 13 JHFレポートの発行
- 14 ホームページの運営
- 15 海外の団体との連携 (DHV視察等)
- 16 機体型式審査
- 17 安全対策事業の実施
- 18 普及活動
- 19 .その他、関連する事業の実施

これら計画されている事業は、いずれも新規のものではありません。昨年度から、あるいはそれ以前から行ってきたこと、準備をしてきたことです。2002年度のJHFは、これまでの軌跡を冷静に振り返り、種まきの結果芽生えたものに、必要な養分を吟味して与え、じっくり大切に育てていく時期に来たといえるでしょう。豊かな収穫に笑むか、不作に泣くか、それは今日、現在の動きにかかっています。

連盟は、理事会だけが動かすものではありません。正会員(都道府県連盟)はもちろん、フライヤーひとりひとりがコントロールするものです。失速して墜落することのないように気を付けるのは、あなたの役目でもあるのです。

## JHF3月通常総会の報告

3月20日(水)午後1時から5時まで、東京都四ツ谷の主婦会館プラザエフ会議場で、2001年度3月通常総会を開催。2002年度事業計画など4議案について議決されました。出席は、47正会員(都道府県連盟)のうち36会員。6会員が委任状を提出。議長には、長崎県ハング・パラグライディング連盟の小川勝良理事長が指名されました。

### 第1号議案:定款変更について

文部科学省の指導によりJHF定款の一部変更が望ましく、議案に上がったもの。採決の結果、賛成40、反対0、棄権1で、定款の一部変更が承認されました。これによって、定款第3章第9条(2)と第4章第17条3の『禁治産者』『準禁治産者』という表現をなくします。

### 第2号議案:2002年度事業計画(案)の承認について

2002年度のJHF事業を行うための基本方針として、理事会が事業計画案を提出。賛成41、反対0、棄権0で、案を事業計画とすることが承認されました。

認められた事業方針には以下の三つの柱があります。

- 1 事故の撲滅
- 2 将来像の検討
- 3 普及活動の推進

### 第3号議案:2002年度予算(案)の承認について

2002年度のJHF収支予算計画案を理事会が提出。賛成30、反対5、棄権6で案を予算計画とすることが承認されました。

新しい支出項目として、広報出版部職員費が認められ、事務局に広報出版専門の職員を置くことになりました。

### 第4号議案:名誉会長推薦について

JHF名誉顧問・顧問規程に則り、渡邊敏久氏を名誉会長として推薦。賛成40、反対0、棄権1で、これを承認。渡邊氏は長年にわたり日本の航空スポーツの普及発展に情熱を注いでこられ、JHFの基礎作りをリードされ、また、1985年にJHF理事に選任されて以来、14年間にわたってJHF組織構築に大きく貢献されました。



3月通常総会より。後ろ姿は議長と理事。

# 焦らず 驕らず 欲張らず

## ゴールデンウィークを安全に楽しむために

宮田 歩

ゴールデンウィークに事故が発生しがちなのは  
たくさんのフライヤーが飛ぶから？  
冬眠から醒めたばかりで脳が眠っているから？  
事故を起こさないために何をすべきか考えよう。

### ゴールデンウィークに なぜ事故が集中するか

除々に暖かくなり、様々なスポーツが気持ちよい季節となってきました。また、自然の中で風と接するパラグライディングやハンググライディングにとっても格別のシーズンとなってきました。しかしこの季節、特にゴールデンウィークは全国的に事故の多い時期でもあります。

なぜこの時期に事故が集中するのでしょうか。実際に起こりがちな事故を挙げ、その原因と対策を考えてみましょう。

### 穏やかなコンディションで リハビリフライト

朝昼の寒暖差が大きく湿度も比較的低い春は、年間を通して最もコンディションが良いというエリアがほとんどです。エキスパートパイロットにはクロスカントリーのベストシーズンとなるのもこの時期です。しかし、晴れた日には対流が活発なため風は強く、またサーマルも強く荒れたものが多くなります。よって、定期的に飛び続けているベテランパイロットにとっても、好条件でバリバリ飛べるといった半面、より慎重なグライ

ダーコントロールと冷静な状況判断が必要となります。冬の間飛ぶことができなかったパイロットにとってはなおさらでしょう。ブランクがあるにもかかわらず、リハビリフライトがこのようなハードなコンディションであれば、事故が起こる確率も必然的に大きくなります。

初めて高高度フライトをした時のことを思い出してください。朝夕のサーマルが無いとき、対流が少ないときに飛んだことと思います。初心者にとって「良すぎるコンディション」は好ましくないのです。

ベテランパイロットでも、冬の間飛んでいなかったのであれば、同様のことが言えます。初心者にはない経験を持っている分異なりますが、やはり定期的に飛んでいたパイロットとは、咄嗟の反応速度が違います。例えば、自転車に乗れる人は、しばらくの間自転車に乗らなくても、すぐに乗ることができます。自転車と同じように、繰り返し練習をしたパラグライダーやハンググライダーも、冬の間飛んでいなくても、飛ぶことはできます。これは脳の経験をつかさどる部位が覚えているからです。しかし、反応や判断は遅れているのです。微妙な速度の違いかもしれませんが、これが春の「良すぎるコンディション」の中では顕著な違いとなって現れるのです。

### 地上練習で不安を解消し

### 自信をとり戻す

そこで初心者、ベテラン共に反応速度を高めるため、もう一度地上練習に目を向けてはいかがでしょうか。あのうだるような夏の暑



冬の間使っていない機材をしっかりと点検。緊急用パラシュートのリバックもお忘れなく。



いつもより機体数がふえるゴールデンウィーク。より慎重に他機警戒を。訪れたエリアのルール確認も大切。

さでの地上練習は堪えかねますが、さわやかな春は、地上練習には最適なシーズンと言えます。

では具体的にお勧めな地上練習を挙げてみましょう。

まずは言わずと知れたグランドハンドリングです。冬の間倉庫の奥に眠っていたグライダーのチェックも、この時にすることができます。プランクがあった後、最初のフライトで最も不安になり、また緊張するのはテイクオフです。そしてこのとき最も事故が起こりやすくなっています。地に足がついた状態でグライダーの動きをもう一度、体で感じるようにしましょう。自信の無いハンググライダー・パイロットの方は、講習バーンでテイクオフ、ランディングを数回で良いのでチェックしてみることをお勧めします。

テイクオフでの不安や一瞬の迷いが失敗を呼び込んでしまうことが多くあります。少しでも不安があれば、納得がいくまで繰り返し練習するようにしましょう。強い自信が失敗を防ぐからです。そして次の高高度フライトは、気流の安定している時にまず一本ぶっ飛ばす。問題が無ければ次からソアリング! くらいの慎重さがあれば完璧です。

#### 未知のエリアでは

##### 安全マージンを大きく

大型連休であるゴールデンウィークは、普段飛び慣れているホームエリアではなく、クラブの仲間と他のエリアにツアーに行くことも多くあります。エリアに向かう道路は渋滞、もしくはそれを避けるための夜間ドライ

ブなど肉体的、精神的にも疲れた状態でエリアに到着することになります。はるばる遠くからやってきたビジターパイロットは、気持ちの高揚から疲れを自覚することが難しく、初めてのエリアで飛ぶことについての心構えさえも忘れがちになってしまいます。特にコンディションが良さそうときには気持ちがさらに高揚して、普段ホームエリアではできているプレフライトチェックを忘れてしまったり、混雑している空中では他機周囲警戒を怠ってしまう危険性があるのです。また逆に気象状況が悪かった場合においても、せっかく訪れたエリアということもあり、少しばかり風が強い場合などにも無理やり飛んで事故が起きてしまっているケースなどがあります。

ホームエリアでは問題ないと思われる条件でも、初めてのエリアでは普段できていることができないことが多くあるのです。ですから、自分の安全マージンを大きくとることが大切です。ビジターパイロットとして、まずエリア管理者や地元フライヤーから注意点やその日のコンディションを聞いてから、冷静に判断してフライトすることを心がけましょう。

ちょっと厳しいかな?と思うときなど、貧乏根性をださずに飛ばのをあきらめ、早めに温泉めぐりに行っちゃいましょう。ツアーは飛び以外のことも楽しめるものですから。

「自分だけは大丈夫」ということは絶対にならない  
最近の大きな事故でよく聞くのが、パラグ

ライダーハーネスのレッグベルト締め忘れによる墜落事故です。エリアによっては安全管理上、レッグベルト締め忘れ防止装置が付いていないとフライトできないところがあるほどです。これはゴールデンウィークだからというわけではなく、平日頃から気をつけなくてはならないことで、必ず2人以上でクロスチェックを行うように心がけましょう。「自分だけは大丈夫」ということは絶対にありません。

事故を起こさないようにすることは、フライヤーひとりひとりの気の持ちようなのです。これらのことは慎重すぎるぐらいが良いと思います。頭の中でおさらいしてみてください。春の最高のコンディションが、あなたに最高のフライトを約束してくれるでしょう。

宮田 歩  
(みやた あゆむ)



1971年4月21日愛媛県生まれの30歳。幼い頃から飛ぶことを夢見ながら育つ。1991年大学入学後、SET信濃平にてハンググライディングを始める。大学卒業後、某電機メーカーに就職するが、飛ぶことへの熱意を抑えきれず退社。1997年、SET茨城にてインストラクターを始める。現在はパラグライディング競技にのめり込み、国内外の大会に参戦奮闘中。

写真左上から時計回り①上空1500mから見た古都、御所、二条城も。②神崎のテイクオフポイント③嵐山を高空から見ると...④赤石岳のランディングエリア

県  
連  
だ  
よ  
り



毎秋、ハング・パラ合同の大会を開催。

京都府フライヤー連盟  
理事長 賀家 慎司

京都府連の概要

日本を代表する観光地、古都京都で活動しております。現在我々京都府フライヤー連盟は、JHFフライヤー会員有効登録者数200名強を抱える連盟ですが、大阪府、奈良県と同じく、府内のエリアが非常に少ないため、主に兵庫県、和歌山県と他県のエリアを利用しているフライヤーが多いのも特徴です。

主な活動

毎年秋にはすっかり恒例となったハング・パラ合同の大会、スカイラリーを神崎フライトエリアで開催しています。

大会とはいえ親睦を主旨としたもので、より多くのフライヤーに参加していただきたいと考えています。

2001年度はあいにくの天候でキャンセルとなりましたが、大会に並行して企画した水難事故からの脱出策についての研修会では多くの意見が交換され、有意義なものとなりました。

京都府のエリア紹介

京都府連では府内に神崎フライトエリアと大江山フライトエリアの2ヶ所の公認エリアを有しています。

神崎フライトエリア(ハング・パラ共用)

会員制のフライトエリアですが、他のエリアと違って永久会員制(登録費5000円)で運

営されているエリアです、ビジター制度はなく、一度会員になればその後の更新は必要なくフライヤーにとっては最高に魅力的なハング・パラ共用エリアです。ただし、テイクオフのランチャー台の保守管理、ランディングの浜清掃等の地域へのボランティア活動には協力していただきます。山頂テイクオフの高度は500m、北側は海風でリッジソアリング、南側は陸風でサーマルソアリングができます。ランディングは由良川河口から神崎海水浴場の砂地で、広さは約2000m×50m。テイクオフ/ランディングとも極めて容易で、安全性が高いエリアに仕上がっています。が、海岸エリアですので当然レスキューセット(海上着水時)の携行は義務付けされております。

スカイスポーツの他に、周辺でカヌー、ウインドサーフィン、海水浴、魚釣りなど多くのスポーツを楽しむことができます。

大江山フライトエリア

(ハング、パラのテイクオフは別々です)

[HGエリア]

風が良ければ日本三景の一つ、天の橋立の上空まで飛べる景色の良いエリアです。フライト可能な季節は秋と春ですが、会費、ビジター費制度はなく、会員の紹介でのみフライト可能です、テイクオフにはランチャー台があり容易。ランディングは田・畑をお借りしています。秋のサーマルコンディションは最高で、三重県青山高原までのクロスカントリーフライト131kmの関西記録を残

しているエリアです。また、近くに大江山スキー場があり、冬はスキーも楽しむことができます。

[PG赤石岳エリア]

会員制のエリアです。

会費:18,000円/年

ビジター:2,300円/回収別途 要予約

休日:毎週月曜日 その他悪天候時

開校期間:4月1日~11月20日

中腹テイクオフ:落差200m 北向き

山頂テイクオフ:落差630m 北向き

エリアの特徴:午前中は北西ないし南の風が入るので、午後からのフライトが濃厚です。西高東低の気圧配置であれば、午前中からでもサーマルコンディションが楽しめます。これ以外ですと、午後から丹後半島の北の風が入るので、長時間のリッジソアリングが楽しめるエリアです。

今後の活動

JHFの社団化に伴って旧関西連盟から分かれ早10年、試行錯誤ではありますが頑張って府連活動を行ってきました。しかし、近年フライヤー数の減少と伸び悩み、連盟活動に対する理解者の減少等が運営そのものに支障をきたしているのが現実です。

そのほかにもJAAからJHFへのフライヤー登録の移管に伴い、府連盟で過去行っていた事業(JHFレポートの発送業務、府連主催の学科検定会の開催等)が無くなり、連盟の存在自体も考えさせられ、我々は今後の府連の活動が正常に行われるか、非常に危惧しております。

このことはJHFが都道府県連盟に対し活性化へのアイデア、アドバイス、対策等をもっと真剣に考えていくべきものではないかと思われませんが.....

京都府連への問い合わせは事務局まで。

TEL.075-593-7979(京都ハンク内)



神崎エリアの恒例行事、浜清掃にフライヤー集合。

# 県連ニュース

## 青森県ハンググライディング連盟

[安全セミナーに35名が参加]

3月2日・3日に青森市のモヤヒルズ&県総合社会教育センターでJHF安全性委員会主催、青森県連主催でセフティーセミナーを開催しました。

講師に安全性委員会(JHSC)の西本一弘さん・後藤望さん、地元救急法講師の土岐司さんらを迎え、救急法・救急器材と取扱い、飛行前点検/クロスチェック、スポーツ医学や飛行器材知識一般について研修。また参加自由で意見交換会・懇親会も行い、大変盛会で有意義なセミナーでした。

この時期の青森はスキーシーズンも真っ盛りで、参加者数が心配されましたが、専門的なお話が聞ける数少ない機会との期待で、多くのフライヤーの参加を頂きました。

講師の方々も直接的に安全対策に携わっている方々なので、知識や技術的内容にも現実的で大変説得力があり、参加者からは大変好評でした。特に救急法は、日頃滅多に使う事の無い知識・技術なので忘れがちになり、いざ本番の時には即応できないのが一般的です。その様な意味では、定期的に何回でも研修を受けた方が効果的に活用できる分野だと思います。

青森県連でも独自研修会を定期的に開催したり、日赤の救急法研修会に希望者を派遣(参加費を県連が補助)したりしており、今後も継続していきたいと考えています。

このような有意義なセミナーを、日本全国の多くのフライヤーが体験できるよう、JHFの継続した今後の活動を大いに期待したいと思います。 [記:古川正司]



多くの参加があり有意義な2日間だった。

## 秋田県ハング・パラグライディング連盟

事務局変更 〒014-0025 秋田県大曲市  
大町8-11 三浦征三方  
TEL.&FAX.0187-63-0520  
Eメール:saneicon@rose.ocn.ne.jp

## 宮城県ハング・パラグライディング連盟

[新役員が決まりました]

宮城県連は2002年から会計年度が変更になり、1月1日~12月31日になりました。そこで2月24日に総会が開かれ下記のように理事・監事が決まりました。今後2年間よろしく願います。

理事長 小野寺 幸則  
副理事長 三品 隆・小川 健一  
専門委員会担当理事  
教習 尾形 梅三郎  
安全対策 三品 隆

競技 川越 敏明  
会計 小川 健一  
無料体験 鈴木 克康  
そらまつり 佐々木 裕行  
競技加盟準備 神谷 賢司・池辺 由加里  
広報 池辺 由加里・今井 政秀  
監事 近藤 泰洋・松倉 幹司  
年間事業計画

4月21日 無料体験講習会  
6月2日 そらまつり  
6月 パラグライダー七ヶ宿カップ  
10月13・14日 パラグライダー鬼首カップ  
11月10日 助教員検定会  
11月 パラグライダー七ヶ宿カップ  
12月 救急法講習会

[記:今井政秀]

## 千葉県ハング・パラグライディング連盟

[県連総会のお知らせ]

千葉県連盟総会

日時:5月11日(土) 17時~18時半  
場所:君津市貞元コミュニティセンター  
議題:2001年度事業、決算報告  
2002年度事業、予算承認及び理事の選出  
その他

欠席者の委任状は必要ありません。千葉県内の会員及びフライヤー会員はどなたでも出席できます。

千葉県連主催無料体験会

日時:4月7日(日)  
場所:千葉県袖ヶ浦市内 東京ドイツ村  
ハングとパラの体験会を開催しました。  
お問い合わせは下記まで。  
TEL.&FAX.0436-60-7006 (小林方)

## 静岡県フライヤー連盟

[セーフティーセミナー開催]

去る2月24日に、JHF安全性委員会(JHSC)と静岡県フライヤー連盟(SFF)共催でセーフティーセミナーが開催されました。会場となったDKスカイジム朝霧には21名の熱心なフライヤーが集まりました。

スポーツ医学一般から始まり、救急法、飛行前点検を後藤さん(サムソンさん)飛行器材/マテリアル等全般を西本さんが講師となり分かりやすく説明していただきました。なかでも救急法は生半可な知識だけではかえって危険な処置になりかねない



後藤講師の説明を聞きながら救急法を実習。

め、スパインボードやバスケットストレッチャー等の機材の正しい扱い方を参加者の皆さんに実習していただきました。ご協力いただいたJHSCとDK朝霧の杉山さんに改めてお礼申し上げます。また機会がありましたら、このようなセミナーを開催したいと思います。 [記:SFF事務局 柴田]

## 京都府フライヤー連盟

[神崎のスカイラリーにご参加を]

京都府連では府内に神崎フライトエリアと大江山フライトエリアの2ヶ所の公認エリアを有しています。神崎フライトエリアでは、毎年秋にすっかり恒例となったパラ・ハング合同の大会、スカイラリーを開催しています。親睦を主旨とした大会で、より多くのフライヤーに参加していただきたいと考えています。昨年度はあいにくの天候でキャンセルとなりましたが、大会に並行して企画した水難事故からの脱出策についての研修会では多くの意見が交換され、有意義なものとなりました。

今年度も例年通り行いますので、奮ってご参加ください。お問い合わせは京都府連事務局まで。

TEL.075-593-7979 (京都ハング内)

## 香川県ハンググライディング連盟

代表者変更 副理事長 仲野正明

(理事長空席のため暫定)

事務局変更 〒769-0103 香川県綾歌郡国分寺町福家216-7

TEL.&FAX.087-874-2902

Eメール:nakano@skytrek.org

## 長崎県ハング・パラグライディング連盟

[美しい自然を望む県北エリア]

長崎県北部には佐世保を中心とする西海パラグライダーズスクールがあり、そのクラブとしてナインティナインがあります。県北一帯は西海国立公園で知られ、特に九十九島の夕景は有名です。クラブ99はその九十九島にちなんで名付けられ、会長の岩佐氏や前川氏は西日本の数々のパラ大会で上位入賞を果たし、県下を代表するフライヤーとして有名です。

長崎は地図上で見る限りいかにも狭いエリアのように見えますが、個性的なエリアが点在します。北九十九島と平戸大橋を望む上床、千里ヶ浜を望む川内峠、ハウステンボスを望む弘法岳など、美しい自然を望むいくつかのエリアがあり、開放感溢れるエリアとして注目を集めています。

また国際都市・佐世保ならではの外国人ビジターとの交流もあり、県南・県央のフライヤーをもリードする新たなフライトシーンが期待されています。 [記:岡本]

## 佐賀県ハング・パラグライディング連盟

Eメールアドレス変更

E-mail:turuturut@dk.pdx.ne.jp

## 委員会の動き

### PG競技委員会 委員長 曾我部 真人

2002年度がスタートしていますが、本年度のJHF公認大会および日本選手権について、尽力して下さる主催者の皆さんが安心して大会を開催でき、また参加される選手にとってより理解しやすいルールに改正をさせていただきます。改正内容をよくご理解いただいた上で、より一層素晴らしい大会の開催、参加をお願いします。

スカイスポーツの基本的な考え方である「自己責任」の所在が曖昧になることは、このスポーツの発展にとって危険でしかありません。主催者がどのような安全対策を講じて自然が相手である限り「絶対安全」ということはあり得ないのです。もう一度原点に戻っていただき、レジャーではなくスポーツの原点に戻って、競技だけではなくフリーフライトにおいても、このスポーツを楽しんでいただきたいと思います。

競技委員会も世界の流れに沿いながら柔軟に対応していきたいと思えます。今後皆さんへのご連絡は、競技委員会ホームページで行います。ぜひ最新情報を入手していただきたいと思います。

http://www.valley.ne.jp/seisadao/

### HG競技委員会 委員長 大澤 豊

2002年度からの競技委員が変わります。新委員は、峰岸正弘、外村仁克、鈴木博司、高橋元樹、日下部はくの5名です。任期は2004年3月まで。よろしくお祈りします。

2002年ハンググライディング日本選手権山形大会IN南陽が、山形県南陽市の南陽市スカイパークエリアにて4月28日(日)から5月4日(土)までの7日間にわたり開催されます。大会速報をHG競技委員会のホームページに随時掲載の予定です。

今年からGPSがバックアップとして使用できるようになり、競技の判定が早くなり

選手に大変好評です。現在試行錯誤しながらよりよくしていこうと努力しています。これから競技に参加される方はぜひGPSにて参加してください。使用できるGPSは各主催者にご確認ください。

尚、事務局にメールをくだされば競技委員会インフォメーションをお送りします。

HG競技委員会事務局

FAX.0299-44-1346

E-mail:haku@tomato.saino.ne.jp

http://tomato.saino.ne.jp/haku/

JHF-HG.html

### 教習検定委員会 委員長 小野寺 久憲

教員検定会開催について

様々な事情のため、教員検定会の開催が遅れていましたが、このほど準備が整い、次の計画で開催することとなりました。関係者の皆様には、すでに正式な案内書が事務局から届いていると思います。受検希望の助教員の皆様は、所属する都道府県連盟の承認を得てお申し込みください。

実施予定日:2002年6月3日(月)~7日(金)

場所:茨城県新治郡八郷町及びその近郊  
学科試験問題の内容が変わりました

このほど、パラグライディングのノービスパイロット証とパイロット技能証の学科試験問題内容を変更しました。すでに全国の教員の皆様にお届けしてあります。新しい問題による学科試験は、3月下旬頃から実施されています。

教習検定委員会の新メンバー

3月末にその任期を終えた委員会メンバーは、全員がそのまま新しい任期を務めることとなりました。顔ぶれは全く同じですが、委員会の意識は大きく変わってきています。就任後3年目を迎えている各委員は、よりパワフルな活動を目指して様々な問題の解決と事業を計画していきます。これからの2年間、よろしくお祈りします。

### 制度委員会 委員長 小林 秀彰

制度委員会は昨年度から選挙管理委員会の協力を得、役員選挙制度の見直しに取り組んでおります。その過程で12月~2月にかけて正会員に対し、選挙制度の見直しの資料とする目的をもって任意のアンケート形式で意識調査を行い、34の正会員のご協力をいただきました。

今回問題点としてアンケートをお願いした内容を要約すると、以下の6点に絞ることができました。

- (1) 都道府県連盟の推薦は必須なのか
- (2) 立候補希望者の不服申し立て制度は必要か
- (3) 所属する都道府県連盟の定義とは
- (4) 推薦基準とは
- (5) 13条3項の解釈について
- (6) 定款変更も視野に入れた役員立候補資格について

この中で(6)にあげている件はJHFの経営者の資格問題であり、JHFの根幹を成す部分です。この問題は、選挙制度とは切り離し、各都道府県連盟で時間をかけ十分に議論をしていただき、総会に諮るべきだと考えました。

また、仮に最短で6月総会において定款変更が決議されたとしても、文部科学省の承認を得るには最低でも半年以上は必要だと予測されます。その場合、定款変更を踏まえた選挙制度案を審議していただくのは2003年3月の総会になります。次回選挙は2003年3月に行われますので、時間的に見ても現行の定款での選挙制度の見直しを行うことが現実的だと考えられます。

当委員会の選挙制度見直しに関する答申の基本方針は以下のとおりです。

- 1 現行定款による選挙制度の見直し案を作成する
- 2 前回の選挙で問題となった点も含め、総合的見直し案を作成する
- 3 4月ごろまでに理事会に成案を提出し6月総会までの2ヶ月間、都道府県連盟でご検討いただく。
- 4 3月総会には選挙制度の見直しに関する制度委員会の基本方針を提出し、定款変更に関する事項については選択肢と解説を提案するのみに留める。

以上、2001年度までの委員長による。

## 常設委員会の委員が選任されました。

3月14日のJHF理事会で、常設委員会の委員が選任されました。新委員は右記の皆さん(敬称略)。任期は2002年4月1日から(安全性委員会のみ7月26日から)2004年3月31日までです。制度委員会は定員に満たないため、追加公募します。制度委員として連盟の力になろうとお考えの方、お気軽にJHF事務局までご連絡ください。

なお、同時に委員を公募した法務委員会(特別委員会)の委員は、理事会が法務委員会規程を見直した後に選任されます。

また、広報出版局は事務局内の広報出版部として活動することになりました。これまでの広報出版局はボランティアでしたが、新年度から広報出版部職員が定期的に事務局に出勤します(週に2日程度)。迅速な情報提供にご期待ください。

ハンググライディング競技委員会

日下部博 峰岸正弘 鈴木博司

外村仁克 高橋元樹

パラグライディング競技委員会

松原 彪 伊澤 光 扇澤 郁

曾我部真人 長島信一

補助動力委員会

小松園悦 鎌村 実 高橋正造

須藤 彰 山崎勇光

教習検定委員会

毛漕正澄 田中栄一 下山 進

半谷貞夫 谷田重雄 小野寺久憲

安全性委員会

下山 進 阿部郁重 岩井克紘

斎藤 紀 幸路尚文 岡 芳樹

制度委員会

小林秀彰 市川 孝

### JHSC 型式登録機

輸入パラグライダー

2002年3月13日の新規登録

PI-844 スカイパラグライダー フィデス 26

PI-845 スカイパラグライダー フィデス 28

PI-846 スカイパラグライダー フィデス 30

\*最新情報はJHFホームページ、安全性委員会のページをご覧ください。



## PGルールブックの改訂

PG競技委員会

パラグライディング競技のルールブックが改訂になりました(2002年3月25日施行)。この改訂の意義と主な変更点についてお知らせします。

よりよい競技環境のために改訂

パラグライディングジャパンリーグ(Jリーグ)、スポーツパラグライディングシリーズ(SPS)は、すでに2002年度が始まっていますが、本年度のJHFパラグライディング公認大会を公認するにあたり、大会を主催する皆様、大会に参加する皆様が容易に理解できる内容にルールを改訂する必要がありますと結論しました。大会開催年度途中での改訂を疑問に思われる方もいるでしょうが、このルール改訂によって、大会主催者に

はより大会を開催し易い環境を、大会参加者には、明確なルールでフライトできる環境を提供できるものと思っています。ポイント計算等、混乱する項目は含まれていません。

主な変更点

1. ジャパンリーグでは、世界各国ですでに採用されているGPSを用いたタスクの証明を徐々に導入していきます。信頼の置けるコンピューターソフトウェアを採用することで、よりいっそう正確で、安全な競技を展開できるものと思います。
2. セーフティーコミッティーの導入と、パイロットの救助に関する具体的な内容を組み込みました。これによってより広

い範囲での情報を把握することができ、万が一の際にも、より早い対応ができるかと期待しています。

3. 新たにオーガナイザーハンドブックを加えました。これは、公認大会を開催するにあたり必要な事柄を箇条書きに、わかりやすく盛り込んだ主催者用のガイドブックです。必要事項を網羅することが、大会を運営するうえで大きな手助けになることを期待しています。

ホームページの活用

今後、競技委員会からの公式発表、連絡はJHFホームページの競技委員会のページで発表します。改訂後の新しいルールブックも掲載しており、Web上で検索しやすいように構成しています。

## PG補助動力技能証規程の改定

補助動力委員会

JHFパラグライディング補助動力技能証に関する規程が変わりました(2002年4月1日施行)。

本来、補助動力技能証はタンデムやクロスカントリー証と同様、パイロット証の付帯証でしたが、今までは平地発進での入門者のために、練習生課程を設置していました。しかし、これはJHFの技能証体系に著しく整合性を欠くため、慎重な協議の結果、基本的な形に戻すことになりました。

まず、補助動力練習生技能証は廃止されます。ただし平地からの入門の道を閉ざさないため、補助動力ノービスパイロット技能証は存続します。これまでの練習生技能証課程は、補助動力ノービスパイロット技能証課程に組み込まれます。さらに整合性を考慮して、同技能証の名称を変更することになりました。

\*新規程はJHFホームページ、補助動力委員会のページに掲載しています。

補助動力技能証体系の改定

1. パラグライディング補助動力技能証 継続
2. パラグライディング補助動力A級練習生技能証 廃止
3. パラグライディング補助動力B級練習生技能証 廃止
4. パラグライディング補助動力ノービスパイロット技能証 改定  
パラグライディング補助動力ノービスパイロット技能証の改定

1. パラグライディング補助動力A級・B級技能証課程の廃止に伴う統合により、同技能証規程の一部改定。
2. パラグライディング補助動力ノービスパイロット技能証の名称変更  
新名称: モーターパラグライディングパイロット技能証(MPG技能証)

Q & A

Q モーターパラグライディングにおける新しいフライトルールは?

A 新しいフライトルールや運用はありません。従来通りの補助動力による運用(上昇・移動・高度維持)の中で、グライディング高度の獲得を目指します。補助動力委員会としてはさらに、エンジンカット後のソアリング技術を向上させる方向で指導しています。

Q MPG技能証とPG補助動力技能証の違いは?

A MPG技能証の講習課程は、補助動力を使用し、すべて平地から行います。山飛びの講習はいっさいありません。一方PG補助動力技能証は従来通り「PGパイロット」のための付帯証です。2つの違いは技能証取得までの講習課程で、取得後の効力は同等です。

Q MPG技能証でクロスカントリー飛行をするには?

A 別途「PGクロスカントリー技能証」の取得を前提とします。もしあなたがPGパイロットでなければ、クロスカントリー証の取得を目指す前に「山飛びのPGパイロット証」を取得しなければなりません。MPG技能証から直接PGクロスカントリー証を取得する課程はありません。

Q MPG技能証でタンデムフライトをするには?

A 別途「PGタンデム技能証」の取得を前提とします。もしあなたがPGパイロットでなければ、タンデム証の取得を目指す前に「山飛びのPGパイロット証」を取得しなければなりません。MPG技能証から直

接PGタンデム証を取得する課程はありません。

Q MPGパイロットがPGパイロット技能証の取得を目指すには?

A MPG技能証はPGノービスパイロットと同格です。PGパイロット技能証課程の検定を受けることができます。PGノービスパイロット飛行許可のグライディングエリアでは、エリア管理者の承認のもと、離陸地点からおおむね5kmを越えない範囲で自己の判断と責任において飛行をすることができます。

Q 旧補助動力ノービスパイロット証からMPG技能証への書き換えは、どんな手続きが必要か?

A 必要ありません。旧補助動力ノービスパイロット技能証は、自動的に、MPG技能証に置き変わって登録されます。ただし、新技能証の入手を希望される方には、再発行の形でMPG技能証を発行しますが、再発行手数料が必要です。

Q 現PG補助動力証既得者は、MPG技能証への書き換え手続きは必要か?

A 必要ありません。PG補助動力証の効力には何の変更もありません。今後改訂が予定される「JHFモーターパラグライディング選手権」の出場資格もそのまま保持されます。それでも新技能証の入手を希望される方は、MPGパイロットとして新規登録できますが、現行技能証の効力では、PG補助動力証とMPG技能証を併せて登録する必要は何もありません。新規登録には、MPG技能証申請手数料が必要です。(MPGパイロットからPG補助動力技能証の申請はできません。)

# ドイツに学ぶ。

安全性基準といえばDHVの三文字が頭に浮かぶほど、安全について確固たる姿勢を見せるドイツハンググライダー連盟。その教育システムや運営方法から学ぶため、昨年の夏、11名の教員がDHVを視察した。

今回の視察で、ドイツの方と結婚し現地に居住するプロ通訳の日本人女性、テーティン礼子さんに通訳をお願いしたことは、大きな収穫をもたらした。お互いに慣れない英語で会話するよりも少しばかり時間はかかったが活発な質疑応答により理解を深め、そしてこのスポーツにかかる情熱を確認しあったのである。視察期間中に記した私のノートは、200ページ近いものになり、撮影した写真は600枚にもなった。今回はその中からレスキューパラシュートについての講義内容の一部を紹介しよう。

## レスキューパラシュート

通常5日間の日程で行われるパフォーマンス課程の中で、レスキューパラシュートに関わる知識とシミュレーション訓練が半日にわたり行われる。一般的には7~8メートルのロープを吊り下げることのできる体育館が使われる。体育館の片隅には、理論講習のための机と椅子、ビデオ装置一式、各種のハーネスとパラシュートが整然と並べられていた。

以下、紙面スペースの都合上、私たちにとってあまり聞いたことのないことを選んで述べてみよう。

1 コンテナの位置は様々、それぞれのタイプで良い面、悪い面があるが、悪い部分をしっかりと理解していれば、それは悪い物にはならない。

コンテナが背中や臀部にあるタイプは、グリップと本体を結ぶテープが長い場合、激しく揺れている中では、方向を定めて強く投げることが難しい。

体の前面にあるものは、小柄な人の場合、離陸や着陸時に前傾姿勢をとることが困難であるため、フライト毎に危険と背中合わせになる羽目に陥る。小柄なパイロットには薦められない。

横にあるものは、スパイラルなどのような旋回に陥ったとき、その旋回方向によっては、本体を引き出すことを含め投げる動

作がとて難しくなる場合がある。他のタイプと比較し、十分なシミュレーションが必要。

太ももの下、ヒッププレートの下側にあるものは、本体を引き出すのに大きな力が必要であり、非力な方には絶対に薦められない。特に大きなGが掛かるような状況下では、このことが大きなトラブルを引き起こしかねない。また、アクセラレーターやフットパーの紐にブライダルテープが入ると、逆さ吊り、ブライダルの切断が考えられる。確実な引出し操作が求められる。

2 通常の飛行状態で、グリップを持って本体を引き出すのに必要な力は7kg未満でなければならない。コンテナを止めているピンは3kg以下の過重で抜けてはならない。勝手にパラシュートが出ることになる。細い糸を使用して適正な過重以上でピンが抜けるようにする。リバックとシステムの点検には、「バネ秤」が必要である。

3 古いレスキューパラシュートについて、一般的にその当時のメーカーは、強度について10年間の保障を公言していた。しかし、最近行われた試験の結果は、通常飛行に用いられた良好な管理の下で製造後10年経過したものは、当初の強度の20~30%しかなかった。

4 リバック方法はパイロットが持つべき知識の一つだが、システムの点検も含めたリバックは、日常的にリバック作業を行っている者に依頼すること。数多くのパラシュートに触れていることから、この人たちにとっては劣化状況を瞬時に判断することが出来るであろう。パイロットは新品と比較する機会が無く、自分のパラシュートの劣化進行状況を把握しづらいといえる。

5 テープとテープあるいはロープとの間で強い過重と摩擦が生じたとき、摩擦熱でお互いにナイフのような役目をする。一般的に5cmもスリップすれば、切断する可能性がある。過重のかかる部分ではテープ同士の接続は絶対に行ってはならない。随所に使用しているゴムは常に新しい物を使用

する。ねばついてきたものは、開傘を5秒も遅らせることになる。

6 ハングの場合、機体との接続部には必ずローター(撚り戻し装置)を取り付けなければならない。空中で破壊した機体は、間違いなく回転運動を起こす。そしてメインブライダルに擦れを作って強度を著しく低下させ、その後、ブライダルラインが抜れて見る間にパラシュートは小さくなってしまふ。

## DHVの安全追求姿勢

皆さんもご承知のとおり、昨年12月14日付で、DHVセーフティ情報としてカラビナの破断が報告された。このことに対するDHVの対応は、迅速かつ明解なものであった。概略は「本連盟は安全上の理由によりオーストリアルバイン社製の該当カラビナについて使用することを禁止する」といったものである。レッグベルト締め忘れによる事故防止のため、脱落防止装置を装備していないハーネスの使用禁止と販売禁止を決断した時と似たような対応である。

教習検定委員会の半谷委員が、この3月会社業務のためヨーロッパへ出張した際、昨年の視察団訪問に対するお礼と今年の計画作りのためDHVを訪れた。そこで、またもやDHVの徹底した安全追求の姿勢を見せ付けられることとなった。DHVでは、今回のカラビナ破断を製造上の問題だけとして片付けてはいなかったのである。破断に至った経緯を徹底的に調査した結果、様々なカラビナに共通の問題でもあることをつきとめ、スカイスーツに使用するカラビナの開閉システムを見直しているという。この件について、間もなく公式発表が行われるであろう。

安全について確固たる姿勢を全世界に示し続けるDHV、私たちのJHFも早く追いつきたいものである。

DHVのURL <http://www.dhv.de/>

(次号に続く)



小さな体育館での講義。  
ビデオ機材は講義内容に関わらず必須機材である。



おなじみの強度テスト。  
準備を手伝い間近で観るテストは迫力満点。



DHVホームページに掲載された  
破断したカラビナ(DHV提供)

# 2004年にPGアジア選手権開催

## CIVL総会報告

田中美由喜

2月21日から23日まで、スイスのローザンヌで開催されたCIVL(ハンググライディング・パラグライディングの国際委員会)の総会に、(財)日本航空協会派遣のデレゲートとして出席しました。今回の参加国は26カ国。アジアからは、韓国と日本が参加しました。

パラグライディングに関しては、PWCを牽引しているメンバーが多く参加しており、CIVLの競技の方向性を現実とかけ離れないようリードし維持していることが、印象に残りました。これからの課題は、国によって異なる競技レベルの差をどのようにWPRS(世界ランキング)に反映し、カテゴリ2大会のレベル向上と、カテゴリ1大会へのエントリーパイロットの技術レベルの均一化を図るかにあります。

ハンググライディングに関しては多様化するグライダーのクラス分けをすることにより、競技への参加者の増加を図り、またハンググライディングパイロットの興味を競技に向けていくことが、課題です。

この総会の前月、ヨーロッパでは7カ国が集り、ヨーロッパハンググライディング&パラグライディング連合が発足。各国が協調して様々な問題に取り組んでいくことになりました。

以下に、今回の総会で協議・議決された内容を簡単に報告します。

### パラグライディング

2002年ヨーロッパ選手権 in スロベニア  
2001年PWCが開催されたスロベニアのトルミンで開催準備は順調に進んでいる。参加総数150名の中で、ヨーロッパ以外の国のパイロットについてはWPRSの上位から選抜されることがローカルルールに定められた。日本のパイロットは現在5名が上位50位以内にあり、5名の出場枠を確保。

パイロット重量

カテゴリ1大会(世界選手権・大陸選手権)でのパイロット総重量制限を30kgから33kgに変更。

タスクストップ /

キャンセル

PWCのルールを採用し、タスクを中断した時点で一人でもゴールがある場合、タスクストップとして成立。ゴール者が一人もいない場合は、そのタスクはキャンセルになる。

アジア選手権

アジア選手権(カテゴリ1)が2004年に韓国で開催されるこ

とに決定。アジア選手権開催はこれが初回。

ワールドエアゲームズ

2001年スペインでのワールドエアゲームズの結果を反省し、次回からワールドエアゲームズと世界選手権の同時開催はしないことを決定。ワールドエアゲームズは、より観客を意識した競技内容とすることを検討する。

### ハンググライディング

クラス分け

ハンググライダーの新しいクラス分けを以下のように決定。

クラス1:変更なし。体重移動でコントロールするフレキシブルウイング。

クラス2:リジッドウイング。無風でテイクオフができるもの。

クラス3:変更なし。パラグライダー。

クラス4:リジッドウイング。フライヤーの脚力でテイクオフできるもの。

クラス5:リジッドウイング。無風でテイクオフできるもの。フェアリングがないもの。(パイロットフェアリングの定義はスポーティングコードのセクション20-7を参照)

ヨーロッパ選手権

2004年のヨーロッパ選手権開催地をフランスに決定。



ハンググライダーは多様化に応じ新しいクラス分けに。

## 理事活動報告

JHFの理事は、それぞれが担当する事業が滞りなく進行するよう、さまざまな仕事をしている。

1月下旬から3月下旬までの活動内容を各理事に報告してもらおう。

会長 朝日 和博

年度末である3月の総会が開催され、2002年度の事業方針と予算が承認されました。JHFはフライヤーが安全に楽しく活動するためにあります。何よりも安全の確保を目指し、事故防止に力を入れたいと思います。また、JHFはまだ発展途上にあり、改善すべき点は柔軟に改革を進め、会員のサービス向上と期待に応えるように努力しなければなりません。新年度はより一層JHF改革に努力します。

普及に関しては、現在のフライヤーが楽しく活動することによって、それを見た人が後に続いて来ることになると思います。同時にすべての老若男女が参加しやすい環境を整えていきたいと思っています。

今後は上記のことを実現する為、できることは直ちに着手すると同時に新たな計画を立てて、6月総会に示したいと思います。

常任理事 関谷 暢人

2月は常任理事会、弁護士打ち合わせ、理事会、委員会

議と週単位で通常業務を消化。3月には総会準備、臨時理事会、理事会、総会、.....とやるのがテンコモリ。

特記事項として、3月13日にスポーツ基金の面接に添石事務局長と出向く。やはり基金機関も財政が厳しく、すんなりいきそうもない。

また総会準備では、自ら議長をかって出る人がいないとこのため「議長依頼」の電話に忙殺。この記事を読んでいる正会員代表の皆さんへ、もう少し、総会運営を担っている自覚を持ってほしい。このままだけ「輪番制」になるかもしれません.....ヨ!

理事 伊賀 隆一郎

3月20日のJHF総会も終わり、2002年度の出発用意が何とか整ったようです。総会に先立ち、意見交換会という形で数名の正会員の方と気楽にお話をする機会を得ました。席上「競技会主催者賠償責任保険」の話題と「各都道府県連盟の役割と存在感」についての話題が心に残りました。

前者については、もっと広く周知して理解していただく

べきだと考えますので、不明な点は事務局へ問い合わせたいと思います。後者については、今後各正会員より事情を伺いながら、理事会において検討していきたいと考えています。

理事 藤野 光一

2月下旬に制度委員会に同席。「選挙制度改革」に関して話し合いが持たれ、改革の方向性を理事会に答申し、3月総会にて報告することを決定。

3月上旬には、競技委員会に同席。「2002年PGルール」に関して話し合い、新ルールとして理事会に答申することを決定。

3月20日のJHF 3月総会出席。上記委員会の活動状況について各委員長より報告。

理事 宮田 富由

安全性委員会開催のセーフティセミナー開催後の検討会及び委員会に参加した。また、高山最終事故報告の検討を行った。

# 理 事 会 ダ イ ジ ェ ス ト

## 2月13日理事会

2002年2月13日(水)13時～17時 場所:JHF事務局会議室 出席:朝日和博、伊賀隆一郎、関谷暢人、瀬戸口裕郎、田中由美喜、長谷川光雄、藤野光一、松永文也、宮川一郎、宮田富由各理事、宮川雅博監事 欠席:横尾和彦理事(出席理事10名、定足数に達し2月理事会成立。)議長:瀬戸口裕郎

### 審議1:2002年3月総会担当振り分けについて

情報交換会の進行役、総会の議長、総会後の親睦会の進行役に、自薦、他薦を問わず、推薦を求めた。情報交換会の進行役に長谷川・伊賀理事が、親睦会は宮田理事が立候補。議長は各理事が適任者を管理部に推薦する案が示された。採決の結果、賛成9、反対0、棄権0で、情報交換会の進行役:長谷川、総会の議長:各理事が適任者を管理部に推薦する、親睦会の進行役:宮田、に可決した。

### 審議2:「事業実施にあたって(案)」について

JHFが各種事業を実施するに際しての指針「事業の実施にあたって」について、文書理事会を行った。結果は、有効数10票で、賛成4、条件付賛成2、反対2、棄権2で原案は否決された。これを受けて、削除、加筆・訂正する部分について意見がかわされ修正案が出された。採決の結果、賛成9、反対0、棄権0で、「事業実施にあたって」については修正の上、可決された。

### 審議3:常設委員の委嘱停止について

2月8日の常任理事会に於いて、本人からの説明を聴取した。本日の理事会では、委嘱停止でなく、諮問の取り消しという修正案も出された。しかしながら重要な案件であり、継続審議となった。

### 審議4:JAPHE後援依頼の件

費用対効果を考える、将来的な投資として後援する等の意見が出された。昨年度の費用を確認するとともに今年度の費用を検討。後援の実施について採決の結果、賛成7、反対0、棄権2でJAPHEの後援することに可決した。

### 審議5:神奈川県連、3月総会上程案について

この案は同県連が昨年6月総会で上程したものであり、その際、他に3つの案も上程されていた。これら4つの上程案を現在、制度委員会が6月総会に向けて検討中のため、3月総会には上程せず、制度委員会が6月総会に改定案を提出するときの選択肢の1つとして明記して上程することについて採決。賛成9、反対0、棄権0で、神奈川県連3月総会上程案は6月総会上程することに可決した。

### 審議6:名誉会長推薦について

渡邊敏久氏をJHF名誉会長に推薦する提案があり、賛成7、反対1、棄権1で、渡邊敏久氏を推薦する事に可決した。

### 審議7:定款の一部変更について(役員資格)

文部科学省の最近の指導方針を踏まえて、定款第3章会員(資格喪失第9条(2)及び第4章役員及び職員等(名誉会長、名誉顧問、顧問の選任及び任期)第17条3の一部を削除する提案があり、賛成9、反対0、棄権0で、提案どおり定款の一部変更を総会に上程することに可決した。

### 審議8:3月総会上程案「2002年度事業予算」について

普及推進室から都道府県連盟の普及活動に対する助成金交付282万円、文部科学省の「総合的な学習の時間」の学習活動依頼による都道府県連盟協力活動に対する助成金交付235万円の予算要求があった。他に広報出版局のJHFレポート発行部数増加による印刷費の増加分約110万円、岡山県連の都道府県連盟事業費の件について報告があった。それらを含め、修正案が提言された。

1. PG教本頒布収入450万円、及びHG教本頒布収入20万円を、PG、HGを合わせて200万円程度下方修正し、約270万円の収入とする。
  2. JAPHE後援依頼50万円の予算措置。
  3. 都道府県連盟普及活動助成金交付金20万円の予算措置。
  4. 「総合的な学習の時間」の学習活動依頼による都道府県連盟協力活動に対する助成金20万円の予算措置。
  5. 広報出版局印刷費増加分約100万円の予算措置。
- 上記の1から5のマイナス分約390万円は、フライヤー3年会員の2年目、3年目の預り金を取り崩して補てんする。事業計画の詳細事業で、支出課目に該当するものを全て挙げる。以上修正の上、3月総会に上程することに決を、採決の結果、賛成8、反対0、棄権1で可決した。

## 3月6日緊急理事会

2002年3月6日(水)13時～17時 場所:JHF事務局会議室 出席:朝日和博、伊賀隆一郎、関谷暢人、田中由美喜、長谷川

光雄、藤野光一、松永文也、宮川一郎、宮田富由各理事 欠席:瀬戸口裕郎、横尾和彦各理事、宮川雅博監事(出席理事9名、定足数に達し3月緊急理事会成立。)議長:関谷暢人

### 審議1:訴訟担当弁護士からの要望書

### 審議2:安全性委員会への諮問の取り消しについて

1と2は関連する案件なので、一括して審議することになった。訴訟担当弁護士の要望書は、現訴訟関連における平成14年2月20日付準備書面提出において、原告より安全性委員会事故調査報告書の提出命令申立の要望があった。その為、その報告書の内容の処遇も含め、今後の事を踏まえて、意見を求めた。訴訟担当弁護士から下記の3点が指摘され、安全性委員会の事故調査報告に対して、理事会として、いずれの立場をとるか回答を求められている。

1. 「安全性委員会作成の事故調査報告書」は間違っているとして、JHFの最終報告書を作成する。
2. 「安全性委員会作成の事故調査報告書」は正しいとして考える。
3. この報告書の当否については何も判断しない(結果的には是認と同じ)。

また、安全性委員会に対し理事会からの事故調査諮問にたいする辞意を確認する、無い場合は諮問を取り消すことが提案された。一方安全性委員会からは、3月5日付けで事故調査の最終報告の見直しについて文書が提出されている。その内容は、現在若干の補足的な作業が残っているが、当該「最終報告書」の認定事実を左右するものではない。3月下旬頃には最終報告書を完成できるというもの。論点としては、安全性委員会の報告書を、次回裁判期日に提出するかどうか、事故調査の諮問を取り消すことが可決された場合、報告書をどう取り扱うかが話し合われた。議長より、仮に安全性委員会への事故調査の諮問を取り消すとして、それをどのように取り消すか、その場合その後のステップはどのようなのか、意見を求めた。これに対する意見が次の2案に集約された。

A案:3月下旬に提出が予定されている安全性委員会最終報告を待って、それに対する反論・異論を出し、その意見を元にして、最終的にJHFとしての結論を出す。

B案:事故調査業務に対し疑義が生じたので、当該業務の辞意確認をし、無い場合は諮問の取り消しをする。裁判所に提出する書類は、第一次報告書プラス諮問の取り消しの理由書及び新たなプロジェクトによる最終報告書とする。これら2案について採決。A案に賛成...3、B案に賛成...5で、B案に可決した。

### 補足説明

新たなプロジェクトチームに関しては、旧安全性委員会のメンバー、教習検定委員会及びPG競技委員会及び専門委員から早急にメンバーを決定し、取りまとめ役として理事から1名選出して、最終報告書を諮問することとなった。

## 3月14日理事会

2002年3月14日(木)13時～17時 場所:JHF事務局会議室 出席:朝日和博、伊賀隆一郎、関谷暢人、田中由美喜、長谷川光雄、藤野光一、松永文也、宮川一郎各理事、宮川雅博監事 欠席:瀬戸口裕郎、宮田富由、横尾和彦各理事(出席理事8名、定足数に達し3月理事会成立。)議長:藤野光一

### 審議1:航空関係者表彰候補者の推薦について

JAA主催「平成14年度航空関係者表彰候補者の推薦」に、元JHF会長渡邊敏久氏を推薦することにつき文書理事会を行った。その結果、賛成8、反対0、棄権1、無回答2で可決しているが、再度採決。賛成7、反対0、棄権0で可決した。

### 審議2:「事業実施指針」の配布について

パラグライダー・ジャパンリーグ大会など各種事業を実施する主催者に対し、「事業実施指針」を配布することにつき文書理事会を行った。結果は、賛成6、反対3、棄権0、無回答2で承認されたが、審議6にこの内容をもっと掘り下げたものが教習検定委員会から答申され、審議6で承認されればこの審議2の文書理事会は取り下げる。また早急に回答が出せないということであれば、改めてこの審議2の文書理事会の結果を承認するか否かが検討する(審議6が承認された為、取下げとなった)。

### 審議3:MPG技能証規程改定について

従来あった補助動力練習生技能証A級・B級を廃止し、

補助動力ノービスパイロット技能証に組み込まれることとなった(2002年1月15日可決)これに伴い、技能証規程を改定することとした。内容については補助動力ノービスパイロット証と殆んど変更はなし。移行措置に関する事項(技能証の再発行等)を付則に盛り込むことで対応していく。採決の結果、賛成7、反対0、棄権0で可決した。

### 審議4:JHF-MPG選手権規程改定について

従来の「補助動力付パラグライディング日本選手権」が「JHFモーターパラグライディング選手権」に変更になった。内容については変更がなく、この名称変更について、承認を求める。採決の結果、賛成7、反対0、棄権0で可決した。

### 審議5:PG競技ルール改正について

2002年度パラグライディング競技ルールの改正について提案があった。大きな変更点はGPSの距離証明を承認するという点。担当理事及び各理事からの訂正箇所等が示され、修正案を採決。賛成7、反対0、棄権0で可決した。施行は2002年3月25日になった。

### 審議6:「事業実施にあたって」について

教習検定委員会提案。担当理事より概略説明があった。主旨としては2月理事会で議決された「事業の実施にあたって」を教習検定委員会に出したところ、連盟としてやっていくにはもう少し肉付けが必要ということで答申されたもの。基本的な内容は「事業の実施にあたって」と同じ。その内容に訂正、加筆、削除をしたもの。教習検定委員会は、この方針が承認されればそのまま作業を継続する。実施指針をJHF関連事業の基本と定め、実施細則は基本的内容を承認し、教習検定委員会に引き続き作成を諮問することの2点を併せて決を採り、その結果、賛成7、反対0、棄権0で可決した。

### 審議7:2002年度JHF委員選任について

香川県連、神奈川県連の要望について検討したのち、審議に入った。事務局広報出版部について松永理事より資料訂正の要望が出された。4月からは事務局広報出版部という形になり事務局直属のボランティアスタッフになるので、性格は委員と別になる。そのため松原氏に関しては理事会議決で決定している。他の何名かは、松永理事にどの人が良いか、選定し、それを理事会の総意を取る形にする。

### HG競技委員会

全員一括で信任を求めることに理事の総意を得られた。採決の結果、賛成7、反対0、棄権0で以下の5名に可決した。日下部博 峰岸正弘 鈴木博司 外村仁克 高橋元樹各氏 補助動力委員会

担当理事より、星野氏、村上氏は専門委員として活動する表明があったので、2名を除いた5名一括で信任を求めることに理事の総意を得られた。採決の結果、賛成7、反対0、棄権0で以下の5名に可決した。

### 小松園悦 鎌村実 高橋正造 須藤彰 山崎勇光各氏

### 教習検定委員会

全員一括で信任を求めることに理事の総意を得られた。採決の結果、賛成6、反対0、棄権1で以下の6名に可決した。毛瀬正澄 田中栄一 下山進 半谷真夫 谷田重雄 小野寺久憲各氏

### 制度委員会

2名一括で信任を求めることに理事の総意を得られた。採決の結果、賛成7、反対0、棄権0で以下の2名に可決した。市川孝 小林秀彰各氏

### 法務委員会

・法務委員会規程第4条(委員資格)第一項及び第二項で、常設委員の兼任が予め謳われている。  
・制度委員会及び法務委員会の両方に立候補した場合、強行採決や、互いに立場をサポートし合いながら、政策を進めることが可能になってしまうため。

・立候補者1名では委員会として成立しない。

上記のことを踏まえ、当面は空席にすることにし、法務委員会規程を見直した後に改選することに決を求め、賛成7、反対0、棄権0で可決した。

### PG競技委員会

無記名投票による採決の結果、以下の5名に可決した。松原彪 伊澤光 扇澤郁 曾我部真人 長島信一各氏

### 安全性委員会

無記名投票による採決の結果、以下の6名に可決した。下山進 阿部郁重 若井克純 斎藤紀 幸路尚文 阿芳樹各氏

# @sky

空の情報いろいろありのページ、その名もアット・スカイ。  
いつでも心は空の彼方というあなた、必読！  
もちろん寄稿も大歓迎。  
「お題はなあに？」や「大会報告」、エリア紹介、フライト自慢、  
JHFへの意見など、どしどし送ってください。  
koho@jhf.skysports.or.jp FAX.03-5840-8312

## 連休に山形県でハンググライダー日本選手権開催。

ゴールデンウィーク直前。遠出を計画していますが、それともホームエリアで楽しめますか。連休は、たくさんのフライヤーが集るチャンス。各地で大小様々なイベントが開かれます。

4月28日(日)からは、JHF主催「2002ハンググライダー日本選手権山形大会IN南陽」がスタート。5月4日(土)までの1週間、ハングパイロット日本一の座をか

けて、全国の代表選手が技を競います。開催地の山形県南陽市、南陽スカイパークは、女子のハンググライダー世界選手権が開かれたこともあり、連休恒例のレディースカップでもお馴染みのフライトエリア。足元には有名な赤湯温泉が、飛び疲れた選手を待っています(疲れるほどガンガン飛べることを祈ります)。山形方面にお出かけなら、ぜひ観戦に寄ってくださ

い。なお、女子選手の上位者は、第17回レディースカップ入賞者として表彰されます。

ハングに先がけ、昨年山形県開催だったパラグライダー日本選手権、今年は岡山県大佐山フライトエリアが舞台になります。10月10日(木)～14日(体育の日)開催の予定。こちらも応援をよろしく。

さて、楽しいゴールデンウィーク。休み明けには笑顔で職場等に戻れるように、安全第一で余裕の飛びを。いつもは会えない仲間が来たり、フライトツアーに出かけたりすれば、夜は酒盛りになりがち。飲酒・夜更かしはほどほどに。

## タメにならない航空史 - 7

### 不細工な機体

矢ヶ崎弘志

航空機は美術工芸品ではないから、設計の主眼は機能や性能に置かれる。それでも、歴史に残る名機の多くは造形的にも見事なのだから、設計が優れていれば機体の外観も洗練されてくるということだろう。では反対に、見かけの不細工な機体は全て駄作かという、必ずしもそうではない。前々回に紹介したイ号飛行船などは、遠慮のないところ極め付きのブスで、その姿に見合った飛行実績しか残さなかったが、世界を見渡せばケースはさまざまである。

まず、1929年に完成したドルニエDo-X飛行艇(ドイツ)の例を挙げよう。全幅48メートル、全長40メートルもあり、当時は世界最大の巨人飛行艇として大きな話題となったが、全体の姿は無骨で、飛行艇という言葉から連想される優美さには程遠い姿だ。



アニメ映画「紅の豚」に登場させたかったドルニエDo-X。

貨物コンテナに翼が付いた？  
ショート・スカイバン。



50トン以上の図体を持ち上げるため、翼の上に600馬力のエンジン12基を並べたので空力特性は台なし。それでもパワー不足で性能は期待外れであった。だがDo-Xはゲテモノではない。商業輸送にこそ使われなかったが、ポーデン湖でのデモ飛行では159人の乗客を乗せて52分間飛び世界を驚かせた。いささか計画が先走り過ぎてはいたものの、巨人輸送機の可能性に挑んだ壮大な実験作なのである。(ただ艇体の形はもう少し何とかならなかったものか)

時代は下って、1960年代の半ばに作られたショート・スカイバン輸送機(イギリス)も不器量だ。直方形断面の角ばった胴体は下駄箱そのもの、よく言っても翼の生えたハコフグである。日本では「あんな姿のものが空を飛ぶのは許せない」と嘆く声すらあった。ただし、スカイバンの外形はデザインが未熟なためでも、奇を衒ったものでもない。はっきりした設計方針に貫かれているのだ。

Do-Xが意欲的な失敗作なら、スカイバンのスタイルは機能のみを追及した結果なのだ。設計者にしてみれば「胴体を箱形にすれば機内スペースを最大限に利用できる。そのために不細工だ、醜悪だのといわれようと思ったことではない」のであろう。堂々たる確信犯ぶりである。大型の貨物を運べるのが受けて、ローカル線用の小型輸送機として多数が使われたのだから、この設計方針は間違いではなかった。その発展型で、今も世界各地で使われているSD330も、側面形だけはスマートになったが正面形と上面形はスカイバンのまま。イギリス流の頑固な設計哲学の典型であろう。そう思っ眺めれば、もっさりした外観も味のあるものに見えてくる。するめのように嘔めば嘔むほど……というところか。

かつて航空機的设计者には強烈な個性を持つ曲者が多かった。その傾向は次第に薄れ、主任設計者の役割はコーディネーター的なものになっては来たが、まだまだ昔風の人物も、特にヨーロッパでは健在なのである。



# カレンダー

場は開催地、団は連絡先です。予定は変更になる場合がありますので、お出かけの際は事前に必ずご確認ください。

5月

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
		1	2	3 <small>憲法記念日</small>	4 <small>国民の休日</small>	5 <small>こどもの日</small>
6 <small>振替休日</small>	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

6月

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

石川県助教員検定会  
4月21日9:00～18:00 場石川県石川郡鶴来町獅子吼高原及び小松市大倉岳スキー場  
団石川県フライヤー連盟 TEL:0761-24-6695

広島スプリングカップ  
4月28日・29日 場広島県広島市安佐北区神の倉山・荒谷山エリア 団広島市ハンググライディング連盟 TEL.090-2294-9537  
E-mail:kojima@csys.ce.hiroshima-cu.ac.jp  
2002年ハンググライディング  
日本選手権山形大会 IN 南陽  
4月28日～5月4日 場山形県南陽市スカイパーク 団大会事務局 TEL.0238-43-2927 (ノブエアファクトリー内)  
E-mail:nobair@nyc.odn.ne.jp  
第18回池田山スカイフェスティバル  
5月5日・6日 場岐阜県揖斐郡池田町池田山フライトエリア 団池田山フライト協会  
唐津信吾 TEL.058-245-4814  
山城知之 TEL.058-248-2495  
E-mail:sky1130@mba.sphere.ne.jp

第14回ゼロカップ  
5月25日・26日 場鳥取県八頭郡河原町霊石山フライトエリア 団株式会社ゼロ TEL.0727-53-8890  
E-mail:info@zero-para.co.jp  
梅池ジャパンカップ2002(PG)  
5月25日・26日 場長野県北安曇郡小谷村梅池高原スキー場 団梅池ジャパンカップ実行委員会 TEL:0261-83-2521  
2002年パラグライダー尾神カップ  
6月1日・2日 場新潟県尾神岳フライトエリア 団大会実行委員会 TEL.0255-48-2311  
JHF6月通常総会  
6月14日 場東京都羽田空港ターミナルビル「ビッグバード」会議室 団JHF事務局  
パラグライディングヨーロッパ選手権  
7月6日～20日 場スロベニア、トルン

## それって専門用語……

フライヤー駆け出しの頃。ある秋の昼下がりに、とある4つほど年上の美女の大先輩がいつものごとく空高く華麗に舞っていた。実はこの方、思い出の初恋の女の子そっくり！ そんな彼女がたまたま自分を車に乗せてくれたのは良かったのだが、ぶっ飛びの意味を「良く飛ぶこと」と勘違いしていた自分、彼女に「いつもぶっ飛んでいてカッコイイですね～！」と、少し上がりながら言ってしまった。

今はますます腕を上げ、いろんなところを飛び回ってるらしい××さん、あの時はごめんなさーい！ ペンネーム：飛ん珍感

## 指が痛い……

翼端折りの練習をやっているうちに困ったんです。手が痛くて十分に折れないんです。翼端折りキットがついてないからしょうがないかと思ったんですけど、周りの人は出来るから不思議です。「みんな人差し指は痛くないの？」と尋ねると大笑いでした。翼端折りは「手、全部を使う」って初めから言ってくれたら……と思います。 ペンネーム：セロ吉

## hang = 吊るす

ハングを始める前、ハンググライダーとはどんなしくみで飛んで操作できるのか、いまいち想像できませんでした。イメージは、皆さんも小学校の頃よく遊んだであろう鉄棒の技である「グライダー」から連想しました。金属の棒一本……。そこにあるのはただそれだけ。腕鍛えなきゃ！ きっと上達したら片手離したりして飛べるようになるんだらうな！ 当時大学受験を終えたばかりだというのに、「ハング」を「吊るす」と、日本語に訳さないで危険な妄想にふける自分はハンパなくアホでした。

ペンネーム：世界こんなもんでいい？

## 僕の勘違い

え？僕の勘違いですか？そうですね。飛んでいる時に、いつの間にか目指していた山を通り越して違う山まで飛んでしまったことかな。気付いた時にはもう既に遅く、帰れなくなってしまいました。知らない場所に降ろすのは初めてで泣きそうになりましたね。一応、安全に降ろすことはできたのですが……。しかし、人間いざとなればできるものです。山頂について「ここで上げないと帰れない！」と思った時のソアリングは今まで一番集中していて、見事上げ直すことができました。その

ため、早く判断できるように、赤白の吹き流しは赤色から白色に進入、と暗記することにした。しかし、無線誘導を卒業したある時「白から赤へ進入するんだっけ？」と、逆進入！ 幸い怪我は無かったものの、こんな覚え方はするまいと誓ったのだった。

ペンネーム：地図の読めないコ

## コンベキ？

まだ、パラを始めたばかりの頃の事。周りの人達が飛んでる人を見て言っているのが、私にはこう聞こえた。「あれって紺碧だよな？」しかし、そのグライダーはどう見ても紺碧には見えない。「あれのどこが紺碧なの？…」それが「コンベ機」だと知ったのはしばらくしてからだった。皆さん、初心者の前では努めて解り易くしゃべりましょう！！

ペンネーム：空爆自爆ミキラディン

次回のお題は「ピンチ！傾向と対策」ハング・パラフライヤーは常にピンチと背中合せ(?)。そこで、あなたがどんなピンチに陥ったか、そしてどのようにカッコよく、またはジタバタして、そこから脱したか、教えてください。

このコーナーでは、お題にそった皆さんの体験談をお待ちしています。笑える話、ホロリとくる話、ビックリする話、大歓迎。200字程度の文章にして、EメールまたはFAXでお送りください。ペンネーム、氏名、住所、電話番号、Eメールアドレスも忘れずに書き添えてください。作品採用の方には、ささやかなプレゼントあり！  
Eメール:koho@jhf.skysports.or.jp  
FAX.03-5840-8312

「JHFレポートお題はなあに」まで。

次回の締切は5月15日。文章の主旨を変えずに編集させていただくことがあります。

# お題はなあに?

今回のお題は「ああ、勘違い!!」  
今だから笑えるけれど……の  
勘違いオンパレード。

後、サーマルをはずしちゃってアウトサイド。ザックを担いで40分も歩く羽目になりました。 ペンネーム：ラブミードゥー

## 名案だと思ったのに……

方向感覚ゼロの私は、小学校の星座の授業以来「右手が東、左手が西、正面は北極星」と思い込んでいる。ホームエリアである足尾の東テイクオフにいても心の中ではこっそり左を向き、右側を東にするのだ。ランディング場の風が北西などと聞こうものなら、進入方向の判断に常人の8倍はかかる

# 大会報告

📌 ハンググライダー関西選手権2002  
2002年2月8日～11日  
和歌山県那賀郡粉河町 紀ノ川フライトエリア

[総合]

1位 大門 浩二 茨城県 20.0点  
今回の大会は、天候に味方してもらえずハンググライディングシリーズとしては不成立となった。初日、いやな山越えの風に悩まされながらもなんとかゲートオープン。しかし、エリア全般サイドフォローの風のせいでも西への移動を妨げ、またサーマルコンディションに成らず。大門選手がGPSの確認でパイロン通過となり初日を終えた。2日目以降は、前線と降雪のため、安全上フライトできる状況には成らず。ローカル大会としてのみの成立となった。

[記:宮浦博之]

📌 全日本ハンググライディング学生選手権  
2002年3月11日～13日  
広島県 神の倉エリア・荒谷山エリア

1位 永光 秀明 EPO 1925.8点  
2位 増田 憲治 AIOLOS 1612.9点  
3位 中東 秀夫 名古屋大 1527.1点  
4位 豊田 良平 EROSPAC 1284.1点  
5位 松村 貴博 オーク 911.9点  
6位 深見 浩司 SKY JACK 940.7点

7位 小林 正典 岐阜大HG部 862.7点  
8位 笠間 智弘 東海ANIMALS 820.6点  
3日間とも天候に恵まれ毎日違う顔ぶれの3、4人がゴールし大会を盛り上げた。学生大会でもキングポストレスが大半の今、豊田・深見選手はツノありで上位に食い込みその力を示した。今大会は、テイクオフのタイミングと荒谷山～神の倉間の谷渡りのタイミング、どちらの山につくかが、大きな分かれ目に。力を持ちながら判断ミスで上位を逃した選手も。

[記:大田祐輔]

📌 Paraglider Student Festival in 足尾  
2002年3月26日・27日  
茨城県新治郡八郷町足尾山エリア

[エキスパートクラス]

1位 上妻 研介 E-WINGS 500.0点  
2位 山口 政志 弘前大Free Wave 437.0点  
3位 松岡 司 BORDER 262.0点

[オープンクラス]

1位 間辺 恭平 EPO 70.0点  
2位 藤井 直人 第一工業大HG部 60.0点  
3位 遠藤 亮介 早稲田ハング 50.0点  
練習日は天気に恵まれ2000m以上も上がる絶好の条件となり、足尾のポテンシャルが顕われた。気合い十分で臨んだ本番だが、1日目はばっ飛びコンディション。2日目は

は雨で不成立。結局1日目の着陸精度が順位の決め手となった。

[記:村上亜希]

📌 板敷山スプリングフライト  
2002年3月20日～24日  
茨城県新治郡八郷町 板敷山エリア

[総合]

1位 板垣 直樹 茨城県 1710.0点  
2位 鈴木 博司 三重県 1632.8点  
3位 大門 浩二 茨城県 1565.5点  
4位 平林 和行 千葉県 1487.2点  
5位 安東 正夫 東京都 1484.4点  
6位 太田 昇吾 千葉県 1428.8点  
7位 大沼 浩 茨城県 1403.8点  
8位 今嶋 功 鳥取県 1376.6点

[女子]

1位 福田 佳代 茨城県 787.6点  
2位 岡田 明子 静岡県 753.4点  
3位 谷古宇瑞子 栃木県 532.1点

初日はまずまずの天気で50.4kmタスク。早めに入った海風に阻まれゴール50m手前まで飛んだ安東選手が首位。2～4日目は気象条件に恵まれずキャンセル。最終日はサーマルも絶好調。2000オーバーの予報。69.2kmタスクで35名がゴール。板垣選手が逆転優勝を果たした。

[記:日下部はく]

## 学連だよ!全員集合!!

こんにちは。先輩との別れが寂しくて泣いているそこのあなた!泣いている場合はありませんよ。もうすぐ新入生がやってきます。新入生獲得のために作戦を練り、一発芸などの技を磨きましょう。

今回より、学生が飛んでいるエリアの紹介をします。まずは、学連総会の報告から。

学連総会報告

3月10日に全国の各地区連(6地区)の代表者が集まって総会を行いました。主な議題は以下の通りです。

1. 役員決め

理事長 大田 祐輔(中国4年)  
副理事長 黒田 覚祐(関西4年)  
永光 秀明(関東3年)

以上のように決定しました。1年間よろしくお祈いします。

2. 学選開催場所

HG: 関西、または関東地区(3月上旬)  
PG: 九州地区(8月下旬)

3. Gリーグ(PG学生リーグ)

2002年度よりPG学生リーグを開催します。コンセプトは「お祭り気分」です。リーグ公認の大会または合宿への参加率、競技点、おもしろさを競うリーグにする予定です。詳細が決まり次第お知らせします。どうぞ期待!

4. HG学生リーグ

今年度の学生HGリーグ事務局は、野口

(関西HG3年)です。今年より1stクラスだけでなく、2ndクラスの年間リーグも開催します。学選、西学選、NASAS、新人戦(団体のみ)の4大会の合計で競います。ランキング上位者には、豪華記念品を贈呈します。

5. 学連公認大会

多くの人に知ってもらい、多くの学生大会を援助していきたいという気持ちから公認ルールを作成しました。今年よりGリーグ対象の合宿も公認します。公認大会の大会資料は全てデータとして残し、次の大会に生かしていきます。学連総会の速報はホームページに載っています。ぜひチェックしてください。

エリア紹介

記念すべき第一回目は、全国でも最も多くの学生が飛んでいるであろう茨城県の足尾エリアについて紹介です。

1. エリア

場所: 茨城県八郷町小屋  
T.O.: HG 東、西、高度差500m  
PG 東、南、高度差360m  
西、高度差500m

フライト可能時期: 通年

2. 学生

学生がいけない日はないというくらい、休日はもちろん、平日も、お盆も正月も、雨の日も風の日も、台風の日だって(!?)常に学生はいます。サークルでは、家政、家政学院、慶応、

千葉、中央、筑波、電大、東工、東洋、日大、法政、理科大、早稲田の13サークルが飛んでいます。4月になると全ての大学が新入生をつれて山に集結し、GWにはなんと100人近くもの学生が集まり合宿をし、昼はフライトや講習を、夜はお酒を楽しむ姿が見られます。

このように、いつもみんなで楽しく飛んでいます。ぜひ遊びに来てください。

学連への連絡は.....

「学連に加盟したい!」もっと学連について知りたい!などの質問、その他学連への応援・苦情などは下記まで。

岡崎勢津子(日本大学4年)

Eメール jsoff2001@hotmail.com

学連HP <http://www.geocities.co.jp/outdoors/2273/>



昨年12月、足尾で行った草大会。只今ウエイティング中。



空のかお  
その43

津留 尚子さん  
(つる なおこ)



「パラグライダーが海に向かって飛び景色がすごくきれいだったんです」そう語るのは、もともとテニスをやっていて、空の世界に足を踏み込むなどと思ってもいなかった津留さん。ご主人とお子さんがパラフライヤー。エリアを見学した時に見た景色が忘れられないそうです。「エリアの方々の雰囲気も好き」で、ほぼ毎週末、たまに平日にもエリアに足を運ぶくらいパラの虜になってしまい、3月にはパイロット証も取得。主なフライトエリアは白浜と鴨川。これからの目標は、自然に対する知識を蓄えて更に経験を積むこと。目標に向かって楽しみながら頑張ってくださいね!

連絡ノート  
JHF  
フライヤー

6月通常総会を開催

6月14日にJHF6月通常総会を行います。会場は、東京都の羽田空港ターミナルビル「ビッグバード」会議室。47正会員(都道府県連盟)が出席し、補正予算などの議案に取り組みます。

なお、一般フライヤーの傍聴を受け入れるための準備(ルール作り等)もしています。申し込み方法などは、後日正会員にお知らせするほかJHFホームページに掲載します。

制度委員を再募集

この2月締切りで、常設委員会の委員を公募しました。3月理事会で各委員会の新委員が選任されましたが、制度委員会は立

候補が少なく、2名のみスタートになりました。正常な委員会活動を行うために、制度委員候補を追加募集します。

委員の仕事を通してハング・パラグライディングを盛り上げていこうとお考えの方、JHF事務局までご連絡ください。

PG学科試験問題を一新

パラグライディングのパイロットとノービスパイロット技能証の学科試験問題が新しくなりました。パイロット、ノービスをめざすあなた、しっかり知識を身に付けて学科試験にのぞんでください。

事務局内に広報出版部

これまでの企画部広報出版局が、事務局内の広報出版部になり、松原正幸さんが週に2日(原則として火曜・木曜)事務局勤務することになりました。

JHF事務局

TEL.03-5840-8311  
FAX.03-5840-8312  
E-mail:jhf@skysports.or.jp

2月・3月のパイロット証取得者

(敬称略 数字は認定日)

パラグライディング

2/6 鈴木 和則	2/26 羽鳥 敏夫
2/8 小泉 裕子	2/28 迫 雅敬
2/8 鈴木 篤剛	2/28 井上 崇
2/12 松元 友理	2/28 山崎 正彦
2/12 八巻 貴大	2/28 大宿 茂
2/12 庵 明宏	2/28 田子 伸男
2/12 蒔田 勝江	2/28 土屋 重夫
2/12 保田 織恵	2/28 島田佐登志
2/13 菅野 衛	2/28 三谷 美和
2/13 矢野 順三	3/5 橋爪 慎
2/13 小高 京子	3/5 川辺 享信
2/13 中村 靖向	3/5 春田久美子
2/14 小原 和弘	3/5 佐藤 寿男
2/14 鞍懸 重和	3/5 小野寺 玄
2/18 山田 則夫	3/5 福沢 美香
2/18 扇田 聡史	3/5 浅川 一史
2/18 田方 健志	3/5 小林 正行
2/19 高橋 英男	3/5 鳴海 弘恭

3/5 津留 尚子	3/18 伊藤 純子	3/26 荒井 教雄
3/5 コソフ アレクサンドル	3/18 杉浦 文彦	3/28 及川 了
3/8 中田久美代	3/22 仁科 郁夫	
3/8 松澤 正義	3/22 菅 重治	
3/8 武嶋 淑子	3/22 尾崎 実	ハンググライディング
3/8 山家 和樹	3/26 堤 昌明	2/8 小笠原英人
3/11 川代 涉	3/26 黒沢 広美	2/8 加地 宏行
3/11 菊池 睦子	3/26 山崎 君子	2/8 遠藤 雅人
3/11 佐藤 良行	3/26 志甫真由美	2/12 長谷川 敦
3/13 瀧武 勝嗣	3/26 定岡 誠一	2/21 三木 啓央
3/13 尾本 亨子	3/26 矢川 互	2/26 佐々木龍也
3/13 岡田 悟史	3/26 藤崎 昌伸	3/5 廣本 泰雄
3/13 原 典子	3/26 木村 京子	3/5 原 明子
3/14 下坂 和也	3/26 栗山 英一	3/5 山崎雄一郎
3/14 曾根 亨一	3/26 三宅 航	3/26 西田 育弘
3/18 原 祥子	3/26 山本 武	3/28 津田 清則
3/18 堀内のり子	3/26 中山 隆広	3/28 桐谷 秀子
3/18 岡崎 秀保	3/26 福岡 聖子	3/29 宮本 尚美

JHF登録スクール 新規登録&変更

- 新規** No.102 サンライフパラグライダーズスクール(PG)  
〒980-0023 宮城県仙台市青葉区北目町3-9(開校地は鬼頭エリア)  
TEL.022-267-2365 FAX.022-264-3413
- 変更** No.2 スカイパーク宇都宮パラグライダーズスクール  
ホームページURL変更 新URL:http://www.skypark.ne.jp/
- 変更** No.11 蔵王坊平パラグライダーズスクール  
ホームページURL変更 新URL: http://homepage3.nifty.com/zao-bpara/
- 変更** No.21 今井浜高原フライングスクール 名称・住所・URL変更  
今井浜フライングスクール 〒413-0503 静岡県賀茂郡河津町見高51-21  
TEL&FAX.0558-34-0708 http://www.imaihama.com
- 変更** No.52 中日パラグライダーズスクール  
ホームページURL変更 新URL:http://www.h3.dion.ne.jp/ chunichi

3月31日までのフライヤー会員登録数

登録年数	1月31日現在の有効登録数	2月の登録数	3月の登録数	3月31日現在の有効登録数
1年		299	253	
3年		194	148	
合計	17,657	493	401	17,915

2月・3月の技能証発行数

ハンググライディング				パラグライディング			
技能証種類	2月の発行数	3月の発行数	3月31日までの発行数累計	技能証種類	2月の発行数	3月の発行数	3月31日までの発行数累計
P証	6(0)	7(3)	4,983	P証	27(6)	47(16)	19,688
C証	26(10)	6(0)	7,017	NP証	35(7)	56(17)	10,527
B証	15(9)	18(3)	11,718	B証	67(16)	70(19)	42,203
A証	16(10)	14(2)	12,140	A証	98(29)	82(27)	46,767
補助動力証	0	0	129	補助動力証	0	7(0)	944
XC証	2(0)	10(1)	1,180	補助動力NP証	0	0	66
タンデム証	0	0	41	補助動力B証	0	0	133
				補助動力A証	0	0	162
				XC証	18(3)	13(1)	4,050
				タンデム証	11(0)	20(0)	657

\*( )内の数字は発行数中の女性の人数です。

編集を終えて  
新年度が始まり、環境が大きく変化した人も多いだろう。広報出版局も変化を迎えた。4月から事務局内の広報出版部として再発進。広報出版局メンバーだった松原正幸が専門職員に。積極的に広報活動をしていきたい。 JHF広報出版部

JHFホームページもご覧ください。  
http://jhf.skysports.or.jp/

JHFレポート5・6月号(No.171)

発行日 2002年4月20日 定価10円  
発行 (社)日本ハンググライディング連盟  
〒112-0003 東京都文京区春日2-24-11  
春日Shimaビル8階  
TEL.03-5840-8311 FAX.03-5840-8312

E-mail: jhf@skysports.or.jp  
編集 JHF事務局広報出版部  
印刷 日本印刷(株)

この印刷物は再生紙を使用しています。